

## 令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ふれあい健康センター（愛称:アクアパークにいがた）		
管理者名	福田道路・オーエンスグループ	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
担当課	環境部循環社会推進課		
所在地	新潟市西区笠木3629番地1		
根拠法令			
設置条例	新潟市ふれあい健康センター条例		
施設概要	敷地面積: 17,065.43㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積: 3,823.92㎡ 建築面積: 2,605.34㎡ 主な施設内容 1階: アクアガーデン(流水プール, 幼児用プール, 気泡・噴流プール, たこつぼ湯, 座湯, 寝湯, ミストサウナ, 屋外ジャグジー), フロント, ロビー 2階: 浴室(人工温泉風呂, ドライサウナ, 水風呂, 更衣室), レストラン, カフェラウンジ, ロビーラウンジ, エクササイズスタジオ, 休憩室, マッサージ室, キッズルーム		

施 設 設 置 目 的
<p>市民の健康の増進に寄与するとともに、リサイクル意識の向上に資することを目的として、新潟市ふれあい健康センターを設置する。</p>
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 , 方 針 等
<p>設置目的を達成し、地域の憩いの場として、又は気軽なレクリエーション施設として活用されることを目指して次の点に留意して事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市民が広く利用する、公の施設であるという性格を十分認識する。</li> <li>②利用者にとって快適な施設の環境づくりを目指す。</li> <li>③より多くの人に利用してもらえるよう利用促進に努める。</li> <li>④日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を最良の状態に保つ。</li> <li>⑤利用者の安全を最優先に考える。</li> <li>⑥効率的な運営を行い、経費の節減に努める。</li> </ol>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	市民の健康増進への寄与	健康教室参加人数年間5,400人以上	健康教室年間参加人数 4,709人	C	昨年度比で参加者は増えているものの、目標は達成できなかった。教室内容などの検討を行うとともに、さらなる広報の充実により、改善を図っていただきたい。
	夏季など混雑時の満足度向上	夏季の利用者アンケート調査で「やや満足」以上が95%以上	令和4年8月実施 ご来場者様アンケート調査 「やや満足」以上 97.6%	B	
	目標利用者数の達成	年間利用者数211,500人以上	年間利用者数 208,617人	B	※工事に伴う臨時休館期間を除いた期間で按分して評価したもの（按分後の評価指標：207,353人）
	閑散期の利用者割合増加	10～3月の利用者数97,800人以上	10～3月の利用者数 98,175人	B	
財 務	事業収支の健全性	収支の黒字化	赤字決算	C	集客の見込める夏季期間に新型コロナウイルス感染症が拡大した影響で、計画より収入が大幅に減少し、目標達成には至らなかった。
	安定収益の確保	レストラン利用者22,700人以上	レストラン利用者数 21,853人	C	利用者は増えているが、集客の見込める夏季期間に新型コロナウイルス感染症が拡大したことなどが影響し、目標達成には至らなかった。
	飲食部門の経費削減	レストランの仕入れ経費率41%以下	仕入れ経費率 38.7%	A	余った食材をサービスランチのメニューとして提供したり、既製品の仕入れから自社調理品に変更するなどの工夫により、目標を達成した点は評価できる。
業 務	リサイクル意識の向上	市民のリサイクル意識の向上に資する事業を新たに1つ実施する。	再生紙100%使用のトイレットペーパーの仕入れ、販売	B	
	事故発生時の対応の適切さ	救急救命全体訓練年2回以上、プール監視員救助訓練年2回、短時間訓練毎日実施、避難訓練年2回実施し、事故発生に備える。	左記訓練の他にコロナ感染症対策会議を実施	A	目標に掲げた訓練のほか、感染症対策にも積極的に取り組んだ点は評価できる。
	施設の清潔感の維持	利用者満足度調査の各施設清潔度「やや満足」以上がアクアガーデン及び更衣室で80%以上、浴室・サウナで85%以上	各施設利用者満足度 アクアガーデン 90.4% 更衣室 84.2% 浴室・サウナ 89.9%	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	コロナ感染症対策で一部仕様変更となるも遵守した	B	
人 材	適切な人員配置と迅速な対応	事業計画書及びマニュアルに沿った適正人員配置の実施	安全管理と円滑なサービス提供の観点から、施設の繁閑に合わせた適正な人員配置を実施	B	
	職員の業務理解度と能力向上	指定管理者研修、類似施設見学、OJTの実施	指定管理者研修、OJTを実施、類似施設見学は感染防止の観点から中止	B	
	人材育成と職員の満足度向上	定期昇給の実施、関連資格の取得	関連資格取得の奨励と定期昇給を実施	B	

**【評価基準】**

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。

(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんのでご注意ください。)

**指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)**

健康教室参加人数、施設の年間利用者数、レストラン利用者数においては、令和3年度と比較して数を増やしているものの対評価指標に対しては未達の結果となりました。施設といたしましては、コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿って適切に運営しつつ、利用促進として新聞折込チラシや冬休みクーポン、路線バス広告などの広報活動や健康教室の無料体験などを実施いたしましたが、7月以降のコロナウイルスの市中拡大により想定した人数を下回りました。

来期においては、地域交流の促進や学生との事業連携、本施設の利用者層には少ない青年世代と利用者との多世代交流の機会を創出して集客力を上げ、収支の改善を図りたいと考えております。

**所管課による総合評価(所見)**

事故発生防止や衛生管理の取り組みを積極的に実施し、安心安全な施設運営を行っているほか、利用者アンケートにおける満足度も高く、利用者へ高いホスピタリティを提供している点は評価できる。

一方、集客の見込める夏季期間に新型コロナウイルス感染症が拡大したことを主な要因として、収支の黒字化や、レストラン・健康教室の利用者数については目標を達成できなかった。

感染症対策の緩和とともに利用者数が回復傾向にあることから、この機運を最大限に生かし、広報の充実や魅力ある事業展開により利用促進、収支改善を図りたい。